

平成26年度
「誤嚥にナラン！体操」策定
WG活動報告書

「誤嚥にナらん！体操」の今後の展開について

1. オリジナル体操策定ワーキンググループとしての活動は今年度で終了。
2. ハイリスク者への体操効果検証は継続(個人研究として継続)。
3. 地域の実状に応じた普及啓発活動は「地域巡回指導」にて継続。
4. 体操指導者の育成に重点を置く(高取・松本)。

ハイリスク者への体操効果検証について

- 平成26年6月にサービス付き高齢者住宅入居者および同事業所のデイサービス利用者へ体操導入を試行。6ヶ月間の継続実施が可能かどうかを検討。
- 平成26年12月に導入後評価を実施。デイサービス利用者に対する導入は可能(週2回)。
- 平成27年1月より有料老人ホーム(エリシオン・アネックス)入居者に対する体操導入と効果検証を実施中。
- 平成27年7月に効果分析実施予定。

有料老人ホームでの効果検証計画

- 対象者：要介護1から2程度の入居者 30名
- 施設のフロア別に介入フロアと対照フロアを設定。
- 方法：介入フロア(15名)では、午前中に行われている既存の集団体操を「誤嚥にナラン！体操」に差し替え。また舌・口唇の局所運動も同時に実施。介入は介護職員により毎日、6か月間実施。対照フロア(15名)では既存のプログラムを継続。
- 評価：「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会」作成の評価チャートの一部改編し、咳嗽力と口唇閉鎖力を加えたものを使用。

体操指導者の育成

- 本年1月より広陵町地域包括支援センターと連携のもと畿央大学キャンパス内にて「介護予防リーダー養成講座」を実施中。
- 週2回，全11回コース。現在受講者37名。
- 講師は大学教員(理学療法士，看護師)，外部の理学療法士。
- 受講生は最終日に認定試験後，広陵町長により「介護予防リーダー」として認定され，有償ボランティアとして活動予定。
- 講座カリキュラムの中に体操の理論的背景や実技を含め「誤嚥にナラン！体操」指導者に認定することを検討。